

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年10月5日（水）17時50分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制管理官、名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員
中川原子力土建部長 他3名
電力中央研究所 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 地震・津波関係の審査状況

時間	自動文字起こし結果
0:00:06	はい。それでは浜岡原子力発電所地震津波関係の審査状況。
0:00:12	審査スケジュール、こちらの面談の方を始めたいと思います。
0:00:17	ではまず、中部電力の方から、今後考えている説明時期等ですね地震津波関係の審査状況、こちらを資料いただいていますのでこの説明をお願いします。
0:00:31	はい。中部電力の
0:00:34	中部電力の武山でございます。今日スケジュールのところの今イメージのところを少し、の面談でご説明させていただきたい。
0:00:45	と思ひましてお時間いただいています。まず前回の館野トップシェアのところ、弊社の社長の林の方から、3号を含めてですね、プラント側の方の34号の並行の審査と、
0:01:01	ランド側の審査の先行の方のお願いをさせていただいております、
0:01:07	今日お持ちしています状況で言います一番下のところのプラント側の審査の状況になりますけど、今ちょっとプラントがやられています。尾野審議官の方とか、
0:01:18	我々の方のプラント側の方の審査の準備状況等をご説明させていただいております、
0:01:25	我々としては年度始まりのところには、3用語そろえて資料が提出できるというところで、そこをもって、
0:01:35	本格的なプラント側の35の並行審査のお願いと、
0:01:40	それより前にこうやっていただければ、
0:01:43	特に山中委員、藤千野委員がおっしゃっていただいています、ハザードにかかわらないところの論点があればということで、そのところの平行のところも、
0:01:55	可能であればというところをお願いしているところです。ただしやはりプラント側の方の審査の方も、
0:02:01	なかなか浜岡の方に、新たになっていうところ今、リソースを集められているということなので、ちょっとどこまで先行ができるかっていうところは、
0:02:12	なかなか難しいってご援助いただいている状況の中で、今、耐震化の方をこんなふうに進めさせていただきたいというのは、アマノの方から少し説明させていただきたいと思います。以上でございます。
0:02:26	中部電力天野でございます。衛藤。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	浜岡原子力発電所地震津波関係の審査状況ということで、工程をお配りしておりますので、当社として、特に地震津波のあたり、どれぐらいのスケジュール感で準備できるかと。
0:02:44	いうところについて、ご説明をさせていただきたいと思っております。
0:02:48	先般9月30日に、敷地内断層の審査会合ありがとうございました。こちらで共通認識ということで、課題を
0:02:59	いただいておりますのでこれに対して、どういう追加調査で何を説明できるかというのを今、検討を進めているところでございますので、
0:03:10	今日ラップアップ面談させていただいたんですがちょっと、初めて共通認識ということでちょっと私たちの資料の書き方がおかしかったので、
0:03:22	スケジュールもう1回取らしていただいて改めて審査会合でご指摘を受けた部分については、中身の方を確認をさせていただいた上で、
0:03:33	対策の方というのを考えていきたいと考えているところでございます。
0:03:39	で、今、内情で申し上げますと、
0:03:45	50メートル盤のやっぱり古谷泥層相当というのが今、審査会合でもお話ありましたけど比木2地点とBF1、BFオオノ3地点しかない。
0:03:56	いうところについてもう少し当然54番ぐらいに古谷泥層ってというのが点在しているんじゃないのかというところのご指摘も受けております。こちら、実は衛藤。
0:04:07	前々からそこも課題であろうということで動き出してはおりまして、一部、要は、
0:04:16	反応がとか、泥層が出るかどうかというのをまず当たりをつけに行っております、出るところがあるということでこちらの方、明確に、
0:04:27	このボーリング或いはトレンチで確認をしていきたいというところで、ただ、
0:04:34	脳天があるもんですから、てもう9月に実は出してるんですけど10月17日、中旬ぐらいに許可が下りる予定ですねそこから始めて、
0:04:43	ボーリングとか、トレンチの作業に入っていこうかなと。
0:04:47	思っておりますので、どんな調査をやっていくかというところを、しっかりと10月中ぐらいに固めまして審査会合でもご指摘あったような、
0:04:59	対応方針について整理して、ヒアリングいただいた上で審査会合でご説明できるように
0:05:07	しっかりと対応していきたいと思えます。
0:05:09	今日笹木さんにも出ていただいておりますがササキさんと相談しながら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:15	共通課題に対してどういうことができるかというのを、
0:05:18	考えていきたいというふうに考えてます。
0:05:21	現状まだ明確に、全部項目そろえられているわけではないんですが当然、年内ぐらいにしっかりやるという目標を立てながら進めて参りたいと。
0:05:34	いうふうに考えてございます。
0:05:36	で、この10月から年末ぐらいの間に地質調査の方を重点的にやって参りますので、先ほど竹山が申し上げた通り、
0:05:47	今後プラント班の審査の再開に向けても、基準地震動と基準津波というのをしっかり前に進めていきたいと思っております。
0:05:57	現状プレート間地震の津波についてはヒアリングももう開始させていただいております、一昨日、2、ヒアリングいただいてまだ少し、
0:06:09	我々の説明資料の方が、抜きが悪いところがありましたのでここを直して、審査会合に諮っていただきたいなというふうに考えているところでございます。
0:06:21	で、それが終わりましたら、
0:06:27	地震以外の津波、地すべり火山現象こちらは、
0:06:31	2、3年前に重点的に審査いただいておりました今残っているコメントっていうのが、地すべりの方は、一体となってるっていうところの説明の仕方の部分と、
0:06:43	火山現象についてはもう、
0:06:46	米6とか米並みたってプレート間地震、
0:06:49	と比べれば、大きくないであろうというところの、評価についてのコメントをいただいておりますんでこの辺を、対応しているところでございます。
0:07:00	あわせて海洋プレート内地震、海域の活断層地震についても、資料の方、しっかり
0:07:07	申請の頃からの変更点或いはどういったものでやってるかっていう概要の方も整理してますんでこれら合わせて、当年末ぐらいまでには、
0:07:16	審査に諮っていただけるべく、資料提出の方をしていきたいと、いうふうに考えているところでございます。
0:07:24	それが終わりますと一応各単独要素の、
0:07:29	影が決まって参りますので最終的に基準津波、つまり津波の組み合わせの部分のご審議の方を、年が明けたらやっていただけるとありがたいと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ということでこちらも資料の準備の方を今進めているところでございます。
0:07:45	で、基準地震動につきましては、
0:07:48	すでに震源を特定する方については4月に、概ね妥当な評価と、
0:07:56	いただきましたので、震源を特定せず策定する地震動について、資料準備をして参りましたが、すでにこちらも資料としては、整備できております。
0:08:07	会合でご指摘いただきました特にその地盤モデルの扱いにつきましても、
0:08:14	あの会合でのコメントとして、要は、特定するで使っている地盤モデルと特定せず変えるってということであると当然そこには、その妥当性の評価等々が、
0:08:27	必要になってくるので、そこんところはちゃんと事業者として考えなさいねというご指摘いただいております今、それ、
0:08:36	特定すると、同じ地盤モデルを採用した上で、評価をしておりますのでこちらの方も、もう今月には是非ともヒアリング申し込みさせていただいて、
0:08:48	前に進めていきたいというふうに考えているところでございます。
0:08:54	基準地震動につきましてはこれ、特定せずが終わりますとあと最後、
0:09:00	基準地震動、
0:09:01	の評価になりますので、
0:09:04	デザインはがどうで、個別はどうかというところの最後の議論の方に、年末あたりから入らせていただきたいなということでこちらも資料の準備の方を、
0:09:14	進めているという状況でございます。
0:09:18	現状我々として資料をご提出させていただける時期っていうのを大体そんなスケジュール感で考えてございます。
0:09:27	ので、
0:09:30	今日、ご説明をさせていただきました。で、9月30日の審査会合の中で、大島規制部長の方からも、
0:09:40	基準地震動とか基準津波のスケジュール化をもう1回審査会合に諮った上で、規制委員会に話をしたいという言葉いただいておりますので、
0:09:50	この辺りはまた、しっかり資料化した上でご説明させていただいて審査会合に諮っていただければと、いうふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:00	ご説明は以上になり、
0:10:09	規制庁の相田です説明ありがとうございました。衛藤しおおいをお配り いただいて資料だと、時間間隔が書いてないんだけど基準、この真ん中 にある基準地震ときちん津波っていうのは、
0:10:23	どうなんだ、年内。
0:10:26	年度年度内のね。
0:10:30	と、というのを今考えているってことです。はい、わかりましたけど も、刀禰ちゃんと、どういう項目についてどういう順番で、それぞれ、
0:10:40	基準津波やるにあたって、
0:10:43	結局今説明があったように、いろんな項目あるわけですよ。どの項目 をどういう形でスケジューリングするのとか、泊伊井でスケジューリン グ出して、
0:10:53	機器もらって、共通の認識としてますけど、プラント側の話はまだまだ まだ先の話なんでつくれないはずなんですけど、ハザードの部分につい ては同じように、どの、
0:11:04	項目についてはこういう課題があって、それを説明して双方の認識が合 意しないと進めないっていう項目あるはずなんですよね。そこの部分を ちゃんと立てた上で、
0:11:16	それをどういうスケジュール感で、どういう形で説明していったら、最 後の基準津波なり、基準地震動、
0:11:25	オオノ制定のところをどこの目標に置く、
0:11:29	において、これを当中部電力として目標として管理をしながら進めたい という形で、ちゃんと
0:11:37	作って欲しいんですよ。
0:11:39	スケジュール。
0:11:41	事業者としてのね、スケジュール目標を
0:11:44	それ、その上で、それがないと、プラント側の審査、いつから始めるの っていう話をやるにしてもそのスケジュール感の中で、うちも人繰りど うしましょうかって話も含めてやんなきゃいけない話になるので、
0:11:58	そこの部分も、宇和ちゃんと数でうちが次、
0:12:02	マンパワー確保できるかどうかっていうことも含めて委員会で議論 しなきゃいけないって話になるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:07	できれば早い段階で次回会合とまでは言わないけどそのぐらいのつもりで、ちょっとこのスケジュールをしっかりとしたものを示して欲しい。
0:12:19	ですよねそれがないと、
0:12:20	我々のハザード側としてのマンパワーをどういう形で使っていくのかっていうところもありますし、当然そのあと2プラント側のマンパワーをどの時期にどういう形で用意すべきなのかっていう議論もできない。
0:12:34	なっちゃうので、まずそれを出していただくことが、まず最初のスタートラインだと思います。で、できればでいいんですけど、その時に、敷地内のH系の上載層の話。
0:12:45	についても、こういう項目を解決するためにこういうことをやろうと思いますでもいいんだけど、実際にやるかどうかってのやっけていきながら考えるって話になると思うんだけど。
0:12:57	それらについてはどういうスケジュール感でどういう調査を、今はやろうと思ってるけど計画中でもいいんですけども、
0:13:04	そういったものを合わせた形で出していただくと議論はしやすいと思ってますんで、
0:13:11	もう一つあるのは、基準地震動のところここで項目的に何も入ってないから何とも言えないんだけど、
0:13:17	浜岡は免震使ってますよね。
0:13:21	そうすると長周期の扱いをどうするのかっていう基準地震動で議論しなきゃいけないっていう項目が1個あるんだけど、そのスケジュール感なり、具体的な説明はその時にやってもらうしかないんだけどもどいう考えでいるのかと。
0:13:33	いうところも含めて、ある程度書いてもらえればとは思いますが。
0:13:40	まずはスケジュールとしてはそれを出していただかないと、
0:13:47	うちもスケジュールは組めない。
0:13:50	規制委員会全体としてね。
0:13:53	そこはいいですか。
0:13:55	少し中電の竹山さん確認させていただきたいんですけど、今内藤管理官のご説明だともともと二つ方針
0:14:06	とスケジュールっていうご宿題いただいとって思ってますけど、1断層系のところの対応方針の
0:14:13	会合と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:14	大沢部長から言われてます、基準地震動基準津波のスケジュールっていうのをセットで、一つの会合にかけるようなイメージということなんでしょうか。
0:14:27	できるんだったらその方がいいと思って、でも難しいかなと思ってるけど敷地内1件、時間的にこうしてないのか、対応方針、
0:14:37	作るのに少し時間がかかるかなと思ってますので、
0:14:41	できましたらやはり
0:14:43	基準地震、基準地震動等はもう、どんどん特定施設もヒアリング審査会合をかけていっていただきたいなと思っておりますので、
0:14:54	ちょっと先ほど面とか李君。
0:14:57	おっしゃられたように、欠ける部分については、
0:15:01	1断層の方もこんなイメージでってことは少し、入れさせていただきたいかなと思いますけどメインとしては、
0:15:08	基準地震動基準津波のスケジュールは、スケジュールでちょっと今、
0:15:13	おっしゃっていただきますようにちょっと我々が思ってるな論点を含めてどういう形で、どういうふうにヒアリングと審査会合をかけてやっていくんだってところをブレイクダウンしてちょっとスケジュールは作らせていただきたいと思います。はい。刀禰。
0:15:26	というなぜそういう一章の方がいいって言ったのかというと、今のこのペーパーを見ると、
0:15:34	敷地内断層の評価で追加調査にすごい時間がかかるので、その間に津波と地震をやってそれでプラント審査をスタートさせた上で、並行で敷地内の地形の話をやりたい。
0:15:51	いうすそう読み取ってくださいって話にしかなくて、
0:15:57	そこは事業者としての、どういう考え方でいるのかってのを明確にして欲しいんですよ。
0:16:04	そういうことやるんだったら総会でなんで時間かかるのかっていうのは、当然こういうことをやらなきゃいけないんだけどもっていうところがベースにあるわけですね。だから、
0:16:14	時間がかかるのでその材料は、しっかり地質部隊が精査していくんだけど、
0:16:23	その間には地震部隊と津波部隊は別に設けているので、並行で進められるから、そこに注力したいと、いうことを、
0:16:34	と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:34	いうふうには、
0:16:38	見えるんだけど、そこは中部電力として、そういう考えだったらそうしっかり書いて欲しいんですよ。読み取ってくださいじゃなくて、わかったとすみません我々としてはそれは、前回のトップシェアのところで社長と、
0:16:52	委員の方でお願いさせていただいて、
0:16:54	そういう形でテキストを
0:16:57	いいですよっていうことだったのでちょっとそこはもう、ある程度いいのかなと思ったんで掃除させていただきますけどおっしゃるように、そういうところも含めて我々としてこういう形で、こうふうに進めていきたいってあるいうと、
0:17:09	明確にあん時もしてるわけではありませんので、少しその辺もしっかり明確にしていきたいと思います。
0:17:17	中部電力の仲川ですが、先ほど内藤管理官が言われましたように、地震動とかですね、松波の方はもう、私どもも、この項目のですね、課題、
0:17:29	それからそれをどういうふうな形で解決していくかというものについての整理もできて、資料もですね、でき上がってきつつあるというそういう間段階ですので、また私が割と短期間に、
0:17:42	出ていけるのかなというふうに思ってますので、そういう観点で私どもとしてはこのところは、割と短い、維持インターバルでお出しできると、それから、
0:17:53	やはり調査の方はですね、走りながらというふうなところもありますので、それについてはどういう項目をやる時にこのぐらい時間かかるよねと。
0:18:03	いうことをブレイクダウンしてですね、お出しをして、パラで進めるというふうなことを明示的にわかると、いうふうな形で表現をさせていただければと思います。
0:18:17	はい。内藤です。よろしくねな。なのでそれをやろうとするときにはだからセットできていなくても、こういうことを敷地内の泥層に関してはこういうことを解決しなきゃいけないからそれに必要な調査ってのは、
0:18:30	いろいろある中で、こういうことも考えていきたいけれどもまたセットできてないんです。でもいいんだけど、だから時間がかかるんですと泥層やろうと思う調査でやろうと思うと大体このぐらいでせん目の子でかかっちゃうから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:44	それは別途進めた中で、他のものに注力をしたと言うんだったらそう書いて欲しいんですよスケジュールとして。
0:18:54	明確に、
0:18:56	皆さんもCEO会議の時の資料でわかりやすい資料、論点が明確で論理構成がわかる資料と言ってるけど、今出てる資料はそう嘘はなってないから、
0:19:09	うちがうち信用会議を踏まえた、対応方針のところでもう書いてるけど、論理構成をちゃんとフローで書いてそのフローの中のどこにどういうデータを使っているからその論理構成が成立しているんだということがわかるような資料とかね。
0:19:24	そういう形でもってあれ全体の流れはそうだし個別のやつも同じですよ
0:19:29	個別のところでも課題として、これを証明するためにはこういう論理構成なんだけれども、そこの部分で論理構成を指示するためのデータってのはこういうものが、ここ、このところに使ってあって、
0:19:41	それ考えれば、問題がないんですよと、いうことがわかるようにした資料をまず最初につけて欲しいんですよ。
0:19:49	中部電力中川です。承知いたしました。
0:19:53	全体についてですね、断層の方の調査も、それから、それぞれ地震動津波の方もですね、今ご指摘のあったような、わかりやすい資料を作成に努めたいと思います。
0:20:11	スケジュールの資料についてはそんな感じなんですけれども、
0:20:17	何かあるとか。
0:20:20	規制庁の名倉です。
0:20:24	資料審査状況の資料から、私も読み取ったのは、
0:20:29	先ほどもちょっといろいろ説明ありましたけれども、R4年令和4年の、
0:20:35	範疇において、
0:20:37	特定せず策定する地震動と、
0:20:41	藤。
0:20:42	プレート間のコメント回答海洋プレート内の地震。
0:20:46	その次による津波、
0:20:48	ここら辺んを、ある程度、
0:20:52	地震以外のものも含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:55	処理するこれが年内ぐらいで、そのあと基準地震動基準津波、基準、基準津波のところは組み合わせを含む、
0:21:03	というこれスケジュール、
0:21:05	だと思うので、そういったところを少しですね、
0:21:09	満遍なく、年内はこれが10、これを重点化します。
0:21:14	年明けは基準地震動を基準津波ということであれば、それをある程度ちょっと間隔開いたとしても同じ基準地震動、基準津波、
0:21:25	こういうスケジュールでやっていきますというちょっと現実的なスケジュールとして今後示していただきたいなど。
0:21:31	今までちょっと私どもも非常に苦労しているのは、
0:21:37	中部電力のいる複数案件の資料が一気にこう出てくると。
0:21:43	そのこのところの読み込みとかですねそういったものが効果的にできないということがあるので、そういう意味で、
0:21:53	何をどの時期に何に集中すべき期間なのかというところを明確にするようなスケジュール出していただけるとありがたいかなと思います。
0:22:02	あと敷地内の断層に関しては、
0:22:05	今日午前中のラップアップの時にも面談ということで申し上げましたけれども、
0:22:12	私どもが会合の目的としていたことに対しては、やっぱり問題点の明確化、それから今後の課題。
0:22:22	の認識の共有化というところを目的にしているので、
0:22:28	それに対して、幾つかテーマで整理をしましたので、それについて、
0:22:36	それぞれに対してお応方針というものを示していただくということで、ただし、重点化すべき項目というのが当然あると思いますので、
0:22:48	どの時期でどういうことを重点的にやるのか、それ以外の項目については補足的な意味合い。
0:22:56	ということであれば、それについては、もう少し違う時、時期ずらしてこういうことをやるとか、
0:23:03	そういうことが、おぼろげながらも結構ですのでわかるような、多段階的な、もしくはシーケンスを設けた上での、
0:23:13	対応というか、こういったところで重点的にまず何を中部電力としてやりたいのか。
0:23:19	そういうところが明確になるような方針を出していただければというふうに思います。私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:29	はい。中部電力有井アマノでございますありがとうございます。まさに江藤ナグラさんおっしゃられた通りでちょっと我々もラップアップさせていただいて、
0:23:40	また来週させていただいた上で項目を、まず共通課題とした上でその課題も当然立て横で連携があると思いますので、その課題を解決するのに、
0:23:52	こういう調査であったりこういう文献調査で、その辺り明らかにするところを作った上で結果こういうふうに説明していきますというところぐらいまでを対応方針の中でしっかり、
0:24:05	整理させていただいた上で共通課題ですので、
0:24:10	その対応方針についても、そういうやり方であれば、進めていけばいいよというところまでご確認いただいた上で、しっかり軽重をつけながら対応したいと思いますので、ちょっとその、
0:24:22	多面的な部分も含めてしっかり対応をさせていただきたいと思いますので、
0:24:28	先ほど内藤さんからお話あった通りそのあたりもあるから、ちゃんとねその間に地震と津波を進めていただきたいというところの、
0:24:38	我々の思いもしっかり早急に、
0:24:41	作って、またヒアリングしていただいてすぐ持っていきたいと思います。
0:24:47	ありがとうございます。
0:24:51	はい。いずれにしろスケジュール、
0:24:54	群馬と泊。
0:24:57	さっきも泊の例出してるけど、ああいう形でねどういう項目があって、それを解決するために資料を用意して、いつごろ、いや、
0:25:08	出してそれを中身を理解した上で会合で議論するというのをやっていく中で、そこがさっき名倉が言ったようにね、オオノ重なってくると。
0:25:19	スケジュールとしてね呼び込む誘致が、皆さんから出してもらった資料を読む時間、時期が並行でいろいろやってる、浜岡のやつ並行でやっていると読む時間がなくなってくるわけですね。当然我々、
0:25:32	ちょっとこれナグラチームは泊もやんなきゃいけないわけですから、
0:25:36	という中で、ちゃんと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:41	現実的なスケジュール感ってのをよく考えていただいて、それでもって終わりがここで目標とするんですっていう、中部電力としての目標時期を出すスケジュール感として出してもらいたい。
0:25:55	それがないと、
0:25:56	幾らCEO会議でもって議論したとは言っても、
0:26:00	事務的には回らないので、
0:26:02	そのベースがないとですね、議論ができないので、
0:26:06	それを出してもらうことがまずスタートだと思います。
0:26:10	あとは、
0:26:13	さっきのH系のササキさんもこられてるけど、
0:26:16	上載層はどうするのか、ラップアップやってっていう話もあるけど、うちの最後の結論、介護度ね、結論としては、
0:26:27	あそこのHQの上載層の泥層が、
0:26:31	周りの笠名層に比べて1世代古いやつが、
0:26:35	削り残されているものがぼつんとありますという、
0:26:40	解釈だけだと。
0:26:41	うちは、
0:26:43	それで違うデータが中でただ解釈すぐひっくり返っちゃうわけだから、
0:26:48	何か古いものなんですっていう何らかの部署を出してくれないと、
0:26:51	今或いは出してるのは、古谷電装だとすれば、古谷泥層と対比したときに、同じように、何も出てこない層準があるから矛盾しないです。
0:27:02	としか言えてなくて、
0:27:04	古谷泥層と同じ時代のものです。
0:27:07	という、
0:27:08	何らかの証拠が何も無い。
0:27:12	周りを見ると、みんな笠名すかソニー豆認定はされてないけれども、いわゆる笠名目相当、
0:27:20	もう、高井高台というかですね、広がっている中で、あそこだけ残ってますという解釈ですと言われても、それは、
0:27:29	我々として、いやあ、明確に古井受ん中に3万Lフリー地層ですということについて明確に言えてない。
0:27:40	だからちゃんとそれを物証探してくださいねっていうことを言って、だからそれが出てこないと幾ら、あそこの泥層と古谷泥層との対比をやったところで、似てますわなーとしか言えないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:54	だからまずは古い。
0:27:56	笠名層面を構成するよりも、明らかに古いものなんですということをまず、
0:28:03	明確な証拠でもって出して欲しい。
0:28:06	その上で古井から、じゃあ、笠田で古家津田言うと、泊成瀬と対比をやったときに、矛盾しないよねっていう話でしかないのでまずは古いものですっていう明確な証拠を出して欲しい。
0:28:18	というのが、最後の我々の結論ですので、
0:28:27	ササキですおっしゃっていることよくわかりました。現状、
0:28:32	近い将来を見据えて、すぐひっくり返されるような物証。
0:28:38	とかっていうのはちょっと避けたいなっていうのがあって慎重になり過ぎたところがすいませんありました。こっから先は
0:28:46	今岡根からおっしゃられたような話を少しロジックを再構成しながら、
0:28:55	この追加調査という、
0:28:59	期間の間でできる限り、やれるべきことはやって、
0:29:05	今キーワード二つおっしゃったというふうに認識していて似ているっていうのと古いっていうのでまずは古いっていうのをまずきちんと言った後に、
0:29:13	それがどこ似ている、似ていないって話に広げていくという流れで、少し再構成して、
0:29:21	データを集めるという作業をちょっとしばらく進めていきたいというふうに思います。
0:29:28	規制庁の井手ですけども、笹木さん、泊もやってたから、認識されてると思うんだけど、泊も上載層、
0:29:36	頭ノーコンタクト関係だけで決めてるわけではなくって、きた。
0:29:40	対策とかね、あの辺でもって層序関係を見た上で、削り込みがあって、須佐層というのは、火噴い1世帯古いものと考えていいですよねとかです。
0:29:52	あの中にも泥層は砂層の中に泥層あったりとかするわけだけども、それを含めて堆積環境の中で場所場所によっては違うけれども、
0:30:04	全体としては礫層が削り込んでいるという状況の中で見たときに、まずとダイヘンの結果として3時代です認定してるけどもそのどっかで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:15	問題がないだろうっていう判断をした上で上載層の年代としては、その年代だよねとだけども後から堆積したものではないよねということの最終確認をした。
0:30:25	という流れでやってるわけなので、ここも一緒だと思うんですよ。
0:30:29	礼装との、
0:30:32	関係だけで言われても、
0:30:34	全体の堆積場としてのどういうふうになったのかわからないと。
0:30:39	あくまでもそう解釈してもおかしくないですよねってのはいえるけれどもそれが唯一解ですと、今やられてるデータで唯一解ですって結論に至らないと。
0:30:49	我々としては13までに明確な、古いものですよという判断はできないので、そこはよく考えてどういう論理構成するのかというところは、よく考えてもらいたいと思います。
0:31:04	はい。
0:31:04	わかりました。そのようにやっていきたいと思います。
0:31:19	すいません。1点、中部電力のものでございます。先ほどのスケジュールも、
0:31:25	通常の今の名倉さんところにヒアリングを、
0:31:29	申し込んで見ていただいてってって感じでいいですか。例えば、次、プレート間の津波やる時に一緒に、
0:31:38	江藤、説明させていただいてっていう、
0:31:41	流れでよろしいでしょうか。
0:31:43	いや、別にスケジュールだけで持ってきてもらっていいですよ、スケジュール介護やりますっていうことはもううちは明言してますよね。
0:31:51	連絡アマンでございましてすいませんちょっと筒井でみたいな言い方して申し訳ございませんでしたもちろん最速ではやるんですけど、なかなかそれこそ忙しいから、
0:32:03	2日とってっていうとなかなか大変かなと思っただけですので最優先でまずは対応させていただきたいと思います。
0:32:12	逆に、規制庁有井ですけど、逆に言うとスケジュールって、私有審査の中身というよりは全体のスケジュール感をどうしますかっていう話だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:23	審査のためのヒアリング審査会合資料としての中身のやつと一緒にするとそっちに時間取られちゃうので、
0:32:31	これって、ちゃんとしっかりしたもの作ってもらえれば、時間かかない話。
0:32:36	中身を確認するのにね。
0:32:38	だから、これは逆に別の方がいいと思いますよ。
0:32:47	はい。よくわかりました。おっしゃる通りだと思います。
0:32:52	規制庁の名倉です。
0:32:53	内藤管理官の方から、
0:32:58	論点も含めて、
0:33:00	スケジュールを、
0:33:01	整理してください。
0:33:03	その時に、これは中部電力だからできるのかもしれないけれども、
0:33:10	他のサイトの審査状況を踏まえて、
0:33:12	まず、
0:33:14	水平展開できる論点は何なのか。
0:33:18	ていうことは多分、普通に考えたらやられてると思います。
0:33:23	それに加えて浜岡のサイト特性って何だろう。
0:33:27	というところも踏まえて、先ほど内藤の方から話しました基準地震動でいったら免震構造を採用してるから免震設計がなかったりとか、
0:33:35	あとはプレート間に対して内陸地殻内とか震源が非常に近いところにあるので、
0:33:41	ということとは津波とか、基準地震動に関して、いろいろと配慮しないといけないこともあると思いますけどそれが今の現状で配慮できてるかどうかとか、
0:33:52	サイトの特徴に応じた、そっちの方からくる論点、
0:33:57	ていうのはこれは他のサイト見ても、
0:34:00	多分ないんですね。
0:34:02	そこをみずから考えてみずから、一番よく認識している先特性、それを踏まえて、どういうことを重点的に説明しないといけないのか。
0:34:12	というところをよく考えていただいて、それで、
0:34:17	ちゃんとその論点を特定した上での説明の重点化をしていただきたい。
0:34:24	チーム連絡アマンでございます。はい。よくわかりました。藤とサイトの特徴のところは、我々としてこうだと思った記載。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:34	をさせていただきますけど、その次、事実としては、実際の審査会合でいいですね。何か我々が、例えばここが論点だって、書いてきて、
0:34:48	スケジュールの時にそんなの論点じゃないって怒られるのもなかなか辛いところもありますので、
0:34:53	これは標準的に当然南海トラフに明示するっていうことでこういうところが論点だと思っておりますがちゃんと対応してございますっていうところが見える化するようにして、
0:35:05	そこが、そこを最後議論するのが審査会合かなと思ってますんでスケジュール上は、
0:35:11	そこ。
0:35:12	いいですかね。
0:35:15	ナイトウですけども、えっとね、当然、中電力として基準適合を説明するためには、浜岡という立地特性を踏まえた上でここはちゃんとやらなきゃいけないっていうところは当然認識されてい。
0:35:29	いるだと理解しています。プラス、一般的にやらなきゃ、やんなきゃいけない話も当然わかってると思うので、それを項目として挙げておいて、それぞれのスケジュールはこういう形ではめ込む。
0:35:45	最後、こういう形での仕上がりまでのスケジュール感ですというところがわかるようにして欲しいってことです。ただ、その中身がね。
0:35:53	聞いてみないと我々もわからないから、
0:35:57	それで、項目としてそれで足りてるかどうか聞いてみないとわかんないところありますので、だから少なくとも皆さんは、今現時点で基準に適合しているというふうに判断してるから申請してるわけなので、
0:36:11	そのためにはどういうことを検討してクリアできてるんですってことについては整理できてるはず。
0:36:17	なわけですから、その項目をきちんと明確にしてスケジュール感の線表を引っ張って欲しいと、そういうことです。
0:36:26	イメージとしては当然その項目項目で、我々なりに考えている論点整理したものを、
0:36:33	論点的なものを出させていただいて、
0:36:35	そこで中身はそのあとだと思うんですけど、
0:36:38	名倉さんたちが見ていただいて、自分たちが持つてるイメージの論点含めて、合ってるっていうところも含めて見ていただくっていうイメージでよろしい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:51	いや、だから、
0:36:52	その数、現状数やってみないとわかんないところあるからね。当然それはないからだから、事業者としては必ず説明じゃ、浜岡の基準適合を説明するし切るためには、
0:37:06	変えずやらなきゃいけない項目ってのは当然整理されてるはずじゃないすかだから申請してるわけ我々がこうだからそれで、次中部電力として、
0:37:16	適合してるというために用意してる。
0:37:19	項目ってのはもうあるはずなんですよ。それをきちんと並べて、それぞれがどういう関係でこっちに掛けしますっていうところも含めてね、整理して、それをどういう順番でやっていくとこういうスケジュール感になるんですっていうのを示してくださいと。
0:37:34	それで足りてるかどうか審査してみないとわかんないから。はい。
0:37:37	その中でサイトと、
0:37:40	特徴的なものがあったり先行できるようになったようなところがちゃんと見える化されてればいいというイメージですよ。
0:37:48	うん。だからだから基準適合としてるため、説明するためにこの項目は、必ずやらなきゃいけない項目ってのが、皆さんが考えてる載っけてくればいいですから、そこで足りてるのか足りてないのかは、スケジュール見てもわかんないし中身聞いてみないとわかんないわけだから、
0:38:05	こういうことやりました、2、はいわかりましたって言うんだったら、審査会合いらなわけですよ。
0:38:14	で今考えている項目はこういう形でこういうスケジュール感で説明し切れると考えているというスケジュール感をきちんと示してくださいということです。
0:38:25	このババです。わかりました。以前まず私どもとして、きちっと自分たちがし、
0:38:32	基準適合しているということをちゃんと通せるという項目としてこれだということをまず提示をさせていただいて、そのあとで、規制側の方と議論をさせていただいてそこで
0:38:44	不足があるんならそこに当然、追加が入っていくというそういうことの、まずまず最初に出発点として、私どもの認識の整理をしっかりさせていただきたいと思います。
0:38:57	認識の整理とそれを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:00	説明し切って基準津波なり基準地震動オオノんが議論が終わるスケジュール感ってのは、どのぐらいのスケジュール感だと考えているのかと。
0:39:13	議論するために必要な中身ということがあってそこが今エンドとして考えている目標の時期ですっていうところなので、
0:39:24	そこが明確になるようにしていただければ、
0:39:26	それに基づいてうちとしてはどういう形で、
0:39:29	ハザードとしてはどういう進め方をするのかってのはそれを見ながら考えていきますし、
0:39:33	当然それを踏まえた上で、じゃあ、プラントの審査着手するかどうなのかということも含めてね、委員会としては議論しなきゃいけないって形になりますので、
0:39:45	承知しました。私どもとしてまず項目と、それからそれに対しての私どもの答えをしっかりと考えてその答えができる時間、それも含めて、
0:39:56	提示をさせていただきたいと思います。
0:40:10	はい。
0:40:11	じゃ、よろしいでしょうか。
0:40:13	はい。それでは面談の方はこちらで終了しますんでちょっとスケジュールの方はまたヒアリング申し込みの時期になったらご連絡をいただければと思います。
0:40:21	では面談、以上で終了します。お疲れ様でした。
0:40:24	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。